

静かな空

連絡先 742-2513 山口県大島郡周防大島町森 365 中尾久利 Tel+ Fax : 0820-78-1246

坂本千尋さんへ

坂本さん、よく頑張った。誰にもまねの出来ないほど、頑張りました。あなたは、あなたに出来るすべてのことを成し遂げました。

あなた自身は、やり残したことが多すぎる、と思うでしょう。しかし、ジャーナリストであったお父さんの人生をそのまま引き継いで、そこにあなた



の人生を作っていったのですから、あなたの人生は永久に終わらない時間の流れのなか書きつけられた人生です。時代の流れのなかの要所要所にあなたの名前と姿がきざみこまれています。

2006年12月15日、岩国の3団体、廿日市の1団体の代表者を大島にお迎

坂本千尋さんへ

世界はどこへ行くのか ウクライナ侵攻 150日

垂直離着陸戦闘機のもたらす災い

この夏の爆音

忘れられた慰霊塔を訪ねる

河井弘志

中尾久利

藤村 寛

えして、大島の艦載機移駐反対の運動を進めるための知恵をいただく会合を開

きました。大島大橋たもとの老人クラブ会館を借りての会合でした。私達の署名運動が、大島の全人口の6割を超えた時点でした。こんな大きな規模の住民運動の会合は、私にとってははじめての体験でしたが、坂本さんの新鮮な発言に啓発されて、私たちはずいぶん元気づけられました。

大島の署名運動にたいする周防大島町長の対応は芳しくないので、私たちの仲間の気力は落ち込みかけましたが、大島だけでなく、もっと広い視野の運動に展開しなければいけないとの判断から、2007年5月13日、岩国市由宇町の山口県ふれあいパークで「瀬戸内海の静かな空を守る集い」を開催しました。このときの参加者名簿のトップにある氏名は「坂本千尋」です。私の手許にある、坂本さんの「参加申込書」には、「各地域から集まるのは、昨年12月15日の、周防大島での意見交流会や3月10日の岩国の市民集会のあとの懇談を含めると、5回目になりますね。今度の取組みはとってもいいことだと思います。今後、こういう取組みの積み重ねで「瀬戸内ネットワーク」へと発展して行ったらいいですね」とあります。この集会が現在の「瀬戸内ネット」の発端となりました。

岩国市の各種市民団体の代表者と県・市の議員を加えた、壮大な運動団体ができたのは、広島県の「西部住民の会」を牽引して活動していた坂本さんのリーダーシップのおかげです。

その後、健康上の理由で「瀬戸内ネット」の世話人を退きましたが、片時も「瀬戸内ネット」のことが頭から消えることはなかったようで、何度電話で激励していただいたかわかりません。私たちも、坂本さんの了解が得られたときは安心して活動を進めることができる、といった状態でした。

岩国基地が存在するかぎり、誰かが「瀬戸内ネット」の活動をつづけなければいけません。いずれ私も坂本さんの後を追いますが、それまでは大空で私たちの運動を見守って、時に応じて知恵のひらめきを私たちに与えてください。

永い間、本当にご苦労様でした。

河井弘志

世界はどこへ行くのか

ウクライナ侵攻 150 日

代表委員 中尾 久利

士気低下に苦しむロシア軍を、ウクライナ軍が押し返す、このような戦況を、誰が予想しただろうか。侵攻当初、ロシア軍は首都キーウ（キエフ）に迫り、ウクライナは国家としての存続が危ぶまれた。しかし、反撃に転じた後は、各地で形成を逆転させ、ロシア軍を首都周辺から追い出した。予断を許さないものの、ロシアが国土を広範囲に占領したり、ゼレンスキー政権を転覆させたり、といった展開は考えにくい。

それにつれて、冷戦後に世界が培ってきた国際法の遵守や主権の尊重、人権擁護などを機軸に置く国際秩序への影響を懸念する声も、次第に静まってきた。当初は、「力任せの秩序が到来する」「新冷戦が復活」などと取沙汰された。今はむしろ、現代のロシアに歴史の流れを変える力はない、との認識が台頭している。菊池努 青山学院大学名誉教授は、この侵攻を「ソ連という『帝国』が崩壊する際の血なまぐさい事件の一つ」と位置づけ、新たな時代の到来との見方を否定する。

国際秩序をこのまま維持しつつ、ウクライナに、いかに平和を取り戻すか。

多数の命を奪う戦争は一刻も早く終わるのが望ましい。ただ、今回の戦争の場合は、終戦が必ずしも平和の到来を意味しない。

ロシア軍の撤退後間もなく、キーウ郊外プチャでは、拷問が疑われる多数の遺体や、地下室に残る処刑の痕跡が見られた。ここでの虐殺は、ロシア軍が占領地で繰り返したと疑われる非人道的行為の一端に過ぎない。ロシアの支配下の停戦は、犠牲を重ねる結果となりかねない。

加えて、ロシアとの安易な妥協は、侵略戦争の容認であり、国際秩序の崩壊を招く恐れが否定できない。

軍事大国の攻撃に常におびえてくらす世界を、次世代に残すべきではない。問題解決の第一歩は、ウクライナからのロシア軍の撤退にほかならない。この大原則をいかに実現するか。国際社会は、軍事面、政治面に限らず、国内避難民や難民の保護、教育の機会の提供と、医療再建といった面で、ウクライナをしっかり支えたい。一方、ルールを無視するロシアと、今後どのような関係を結ぶのかも、論議が必要だ。今後も国際秩序を保ち、世界を安定に導くには、米国、欧州、国連といった、ウクライナを支える関係国や組織のコンセンサスが欠かせない。最も重要なのは、収束に向けた具体的な道筋が論議され、立場の違いが生じる際に、結束を崩さないことだ。

結びつきを深めるだけでなく、広げることにも、苦心すべきだろう。中国やインド、さらにはアジア各国やアフリカ諸国に、その意識が十分共有されているとも言い難い。

これらの国々を包含した秩序をいかに構築していくか。そこに日本が担うべき役割も見いだせる。

「ルールに基く国際秩序」の擁護を責務と位置づけて来た日本には、その理念を具体的に実現

する努力が求められている。

垂直離着陸戦闘機のもたらす災い

『静かな空』No.73 で報告したように、艦載機移駐（2018年4月）以後、岩国市の爆音はかなり激化してきましたが、周防大島町の三浦などは、その割に爆音が激化していないという現象がみられます。それは岩国基地への着陸は、広島側からの着陸が多くなったためか、と想像していましたが、F35Bのような、垂直離着陸する戦闘機が多くなったので、基地の近くでは爆音が激しくなったわりには、三浦上空から降下して滑走路に進入する着陸が少なくなったという状況も関係している可能性もあります。

A 水平飛行

写真 A は通常の水平飛行のときで、ジェット噴出し



ろ向きに水平に噴出しています。

B 垂直着陸



滑走路や着陸地点の上空までくると、写真 B のように、ジェット噴出口を下向きにかえますので、飛行機は飛行をやめても落下しないで、エレベータのように、ゆるやかに地上へおりていくことができます。

下向きになった噴出口がわかりますか？

写真 「行動の写真集」(戸村良人) から

離陸するときは、垂直のジェット噴出によって滑走路からゆるやかに上昇し、飛行する高度までくると、噴出口を水平にかえ、水平飛行をします。

こうした垂直離陸、垂直着陸をする戦闘機のためには、普通の滑走路は不要で、ヘリコプターと同じ発

着点があればよいので、三浦から滑走路に着陸するときのような低空飛行をする必要はありませんし、水平離陸のときのような滑走路も不要ですから、低空飛行で離陸するときのように飛行コースの真下の町に爆音を発散することもなくなります。

かし、ちょっと考えればわかるように、基地直近の住民が受ける爆音は、水平飛行のときの爆音よりもはるかに大きくなります。水平飛行なら、頭上通過点を中心に最大爆音が移動し、その前後は遠く離れますが、垂直離着陸の場合は、最大爆音が横に移動することはなく、ゆるやかに上下に移動するだけだから、至近の住民が受ける最大爆音の時間は数十秒、数分間と長くなります。『静かな空』No.73に掲載した、艦載機移駐以後の爆音のグラフに表れているように、基地に近い住民の爆音被害の増大は避けられません。垂直離着陸は、周防大島町民にとっては幸いかもかもしれませんが、基地至近の住民の爆音被害の増大を考えると、喜んでいる場合ではありません。

そのうえ、各地の事故発生の報道にみるように、垂直離着陸する飛行機は事故を起こしやすいという危険性があります。そこで、「瀬戸内ネット」は、他の住民団体と連名で、あるいは単独で、各地で事故をおこしている F35B を岩国基地にもってくることに、抗議してきました。

2020年1月9日 「岩国基地問題と日米地位協定の問題に関する公開質問書」「米空母艦載機部隊の移駐や F-35B ステルス戦闘機の配備により、爆音被害など岩国基地関連の苦情件数は過去最大となっています、・・・岩国基地強化、そして日米地位協定の問題に関して質問させていただきたいと思えます」差出人: 瀬戸内ネット共同代表 桑原 清, 河井弘志. 提出先: 市長選挙立候補が予想される人あて. 添付文書: 「岩国市長選挙 2020 公開質問書」

参考 2020年8月27日 「米海兵隊岩国基地所属機の機種更新について(照会)」提出先: 中国四国防衛局長. 差出人: 山口県知事、岩国市長、周防大島町長、和木町長 連名. 「米海兵隊岩国基地における FA-18 から F-35B への機種更新については・・・文書によりご回答くださるようお願いいたします」「運用開始から現在までの F-35B の事故の発生状況(米国・日本・それ以外の地域別、事故の程度別)はどうなっているのか」

2020年9月2日 「高知沖の事故再調査報告書」と「F35B 追加配備による基地機能強化」について緊急の申入れ」提出先: 岩国市長. 差出人: 愛宕山を守る会、愛宕山平和研究所、瀬戸内ネット、広島県住民の会、住民投票を力にする会 の5団体代表連名. 「米国防総省は「F35B は 2019年11月4日現在で、873件の未解決欠陥が残されている」と米議会で明らかにしている」

2020年9月2日 「F35B のさらなる配備に反対し海兵航空隊の組織的・制度的欠陥の是正を求める申入れ」提出先: 岩国市長; 差出人: 瀬戸内ネット共同代表 桑原清・河井弘志.

2020年9月16日 「不十分な情報提供の国に抗議しさらなる情報提供を求める申入れ」提出先: 岩国市長. 差出人: 共同代表.

2020年9月28日 「F35B 追加配備湯尾任を撤回するよう求める申し入れ」提出先: 岩国市長. 差出人: 共同代表.

2020年10月12日 「F35B 追加配備容認を撤回することを再び求め、空中給油訓練の安全性を確認するよう求める申入れ」提出先: 岩国市長. 差出人: 共同代表. 「F35B の安全性と訓練の運用に問題がないことが確認できない現在、F35B 追加配備容認は撤回すること」

2021年3月31日 「本年17日米本国での F35B の重大事故に関わる申入れ」提出先: 岩国市長、差出人: 共同代表

2021年8月2日 「F35Bの安全対策と岩国市の情報公開の改善を求める申入れ」提出先: 岩国市長
差出人: 共同代表.

2021年10月5日 「自衛官いずもに岩国基地所属F35Bを配備することに反対する申入れ」提出先: 岩国市長. 差出人: 共同代表.

2021年12月7日 「米空軍F35B部隊の岩国基地展開に反対する申入れ」提出先: 岩国市長, 差出人: 共同代表. 「今回のF35Bの岩国基地展開については反対の意思を表明し、即時撤退を国・米軍に申し入れること」

2022年2月18日 「F35B戦闘攻撃機の曲芸飛行まがいの飛行訓練に抗議を求める要望書」提出先: 岩国市長, 差出人: 共同代表.

2022年5月13日 「2022海兵航空計画に見る基地機能強化についての申入れ」提出先: 岩国市長. 差出人: 共同代表.

「第二に指摘することは、将来的にF35Bの配備機体数が増加することについての疑念である。現在岩国基地配備のF35Bは30機弱と思われるが、計画6ページによれば2022年度終了までにVMFA121とVMFA242それぞれの部隊に15機が配備され、F35Bは2024年度が始まるまで続けられる。そして2024年度終了までにVMFA121とVMFA242はそれぞれ10機体制となるとされている。

・・・米軍はアメリカ型強襲揚陸艦に20機のF35Bを搭載する構想を推し進めようとしており、今後岩国基地に配備されるF35Bは22機以上になる可能性が高まると考えるべきで、騒音・事故など市民被害の増大が懸念される」

2022年5月27日 「遠征洋上基地ミゲルキースの定期的な入港に抗議を求める申入れ」
提出先: 岩国市長, 差出人: 共同代表.

「無人偵察機の配備、F35B戦闘攻撃機の32機体制の確立、港湾施設の軍港化など、岩国基地の機能強化は際限なく続けられている。・・・岩国市としても基地機能を強化させないよう力を尽くすことを申し入れる」

(「瀬戸内ネット」の要請文の情報の多くは久米慶介顧問による)

オスプレイ受入にたいしては、全国的に批判、抗議が沸き起こりましたが、F35Bにたいする瀬戸内ネットの批判活動もそれに劣らぬものであったことがわかります。F35Bは「レーダーに映りにくい」という、ステルス戦闘機特有の特性に加えて、垂直離着陸には避けられない事故多発という欠点があり、さらに離着陸の爆音も尋常ではありません。識者によると、事故多発の垂直離着陸機の多くは大島側から飛来しているそうです。近年、激しい爆音は聞こえるが、機影がみえない、ということが多くなったのも、ステルス戦闘機と無関係ではないでしょう。F35Bが岩国基地から撤退するまで、厳正に見守り、抗議する必要があります。

この夏の爆音

今年の夏は、6月から7月にかけての米空軍第354航空遠征団の飛行活動展開、夜間訓練などで、騒然としたな夏になりました。その。うえ、防衛省は、航空法に違反するオスプレイの低空飛行を容認すると

いう暴挙に出ました。日本の航空法は、最低安全飛行高度を 150 メートル（およそ 500 フィート）としておりますが、防衛省は 300 フィート（およそ 90 メートル）の飛行も容認したのです。

こういうよくない環境のなかで、大島の爆音はあいかわらず住民の生活をおびやかしています。

爆音 70 デシベル以上であった飛行回数（地域別）

	7 月		8 月	
	回数	1 日 20 回以上	回数	1 日 20 回以上
岩国市川下小学校	236	5 日（1 日最多 31 回）	172	3 日（1 日最多 38 回）
青木町	317	5(1 日最多 49 回)	180	1(1 日最多 26 回)
由宇町千鳥が丘	196	4(33)	155	3(38)
三蒲	185	1(46)	127	2(30)
浮島	73		70	
久賀小学校	25		47	
大島中学校	93	1(26)	94	2(23)
安下庄小学校	26		27	
油田出張所	20		17	

全体として岩国市の爆音飛行にくらべると、大島の爆音飛行の回数は少ないようですが、滑走路に進入する玄関先にあたる三蒲の回数は、目の前に見える由宇町の飛行回数とほぼ同数になっています。すべての米軍機が、文珠山頂上を通過して、由宇上空を經由して滑走路に入るのですから、爆音飛行が同数になるのはあたりまえのことです。

三蒲地区の住民に静かな環境が戻るのは、いったい何時のことでしょうか。

忘れられた慰霊塔を訪ねる

下田 Hiroshi Fujimura



先月、記録的な台風 14 号が吹き抜けて、後片付けも落ちついた 10 月初めのある夕方、近所の白木山に登った。地図で山頂まで車道が通じていることは知っていたため、徒歩ではなくマウンテンバイクにまたがり、水だけ持ってでかけた。去年は通行止めだった細い県道が、ところどころ修復されて森の中を続いている。山頂手前には、台風によるのだろう、倒木が道を塞いでいた。

車だどこまでだが、自転車とともに下をくぐって進んだ。山頂からは西側の景色がひらけて、両側を海に挟まれた瀬戸内アルプスの峰々を眺められる。下田から長崎の集落を見下ろすと、この春から自分の暮らす集落が、まるでミニチュアのように見える。夕方 5 時に集

落に流れる「ふるさと」のメロディが、遠く聞こえてきた。

「村でも町でも新しく訪ねていったところでは、必ず高いところへ登って見よ」というのは、よく知られた、宮本常一の「旅と人生の心得」の一つである。私はもともと登山やサイクリングが好きで、広島ではしょっちゅう山登りをしていた。この春に大島に住むようになってからは、登山靴を畑で履きつぶすなどして、一度も山に登る機会がなかったが、大島は自転車でも山登りができると気づいた。白木山の頂では久々に山登りの楽しさを味わった。眼下の長崎の集落には、小さくこんもりとした下田八幡宮の森があり、昨年末にそこで見つけたものを思い出していた。

下田八幡宮の本殿に至る階段の途中で、左に折れる道があり、そこを進むと鬱蒼とした木々に囲まれて小さな広場があり、道なりに右にゆくと拝殿に至るが、道を外れた広場の奥に何かがあるのに気づいた。草をよけて近づくと、石塔であることが分かった。石塔は軍人墓のように頂点が尖り、周囲には柵の残骸であろう、砲弾型の石柱が散らばって倒れていた。石塔の表には「慰霊塔」、裏には「昭和二十九年四月建之」とだけ刻まれ、他には一切の説明がない。



それ以来、その「慰霊塔」の存在が、ずっと心のどこかに引っかかっていた。宮本常一の教え通り白木山の山頂から集落を観察しても、「慰霊塔」を誰がどういった経緯で建てたかということまでは分からない。この原稿を依頼され、この機会に下田八幡宮の”忘れられた”「慰霊塔」について調べてみようと思ったのが本稿の動機である。

下調べとして東和・久賀の図書館で資料にあたったものの、「慰霊塔」の経緯はおろか、この地域で日清戦争から太平洋戦争までの幾多の戦役に出征した国民の数すら判然としない。したがって今回書けることは、このあたり一帯の集落を束ねていた神社に戦争に関わる不思議な「慰霊塔」があるが、それが何であるか手がかりがない、ということにとどまる。もう少し調査を進めて、数回にわたって書くことをお許し頂きたい。(下田在住・H・Fujimura)

「茶がゆ」と決明子

茶がゆは島の郷土食だそうです。ホット落ち着くおしいかゆ。これに使うのが炒った「茶豆」。以前から、この「茶豆」って何？と不思議でした。だって、スーパーや道の駅でも売っていない。ネットで「茶がゆ」を検索したら、茶の葉で作る「茶がゆ」しか出てない。島の人は誰に聞いても「茶豆」としか言わない。

でもこの度、やっと正体がわかりました！

これは「えびす草」でした。

これを炒った豆は決（けつめいし）という漢方薬で、いろいろな薬効があるそうです。大島には、それで元気なお年寄りが多いのでしょうか。

茶がゆも豆茶も、この炒った「茶豆」、つまり漢方薬「決明子」から作られています。

大島には、なんかいろんな宝物があるなあと思うこの頃です。

（決明子の薬効—インターネットより）

決明子は主に利水（水めをめぐらせ排出する働き）、明目（目を明るくする）、便通の3つの働きがあります。熱を冷ます働きがあるため、目の充血や頭痛、イライラなどを冷ますといわれています。腸を潤して便通をやさしく整える働きもあります。老化に関係する「腎」をサポートしますので、ご年配のコロコロ便にも良いでしょう。民間的には血圧を下げたり、コレステロールに良いということから、生活習慣病の予防に使用されています。

（追記）同類の植物にハブソウがあります。これで作ったのがハブ茶、でもよく似ているので、えびすの草をハブ茶として売られていることもあるそうです。炒ったものは決明子と呼ばれていますが、本来はえびす草の種が決明子。

Michie Fujimura